

平成22年3月19日（金）

国土交通省関東地方整備局 北首都国道事務所

— 記者発表資料 —

**国道4号春日部古河バイパス「春日部地区」
平成22年3月29日に2.5kmが4車線化開通**

北首都国道事務所では、国道4号春日部古河バイパスの埼玉県区間について、都心側より4車線化事業を進めています。

同バイパスの「春日部地区」について、昨年1月の1.7kmの4車線開通に引き続き、今回、延長2.5km区間（次頁参照）について、4車線で開通することとなりました。

【開通日時】平成22年3月29日（月）（9時より順次開放）

【開通区間】^{たてのにし}立野西交差点^{つばき}～^{みなみ}椿（南）交差点の2.5km区間

^{たての}（埼玉県春日部市立野～^{くらつね}春日部市倉常）

今回開通する区間では、4車線化に伴い、スムーズな交通が期待されます。北首都国道事務所では、今後も4車線化事業を進めて参ります。

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、春日部記者クラブ、
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

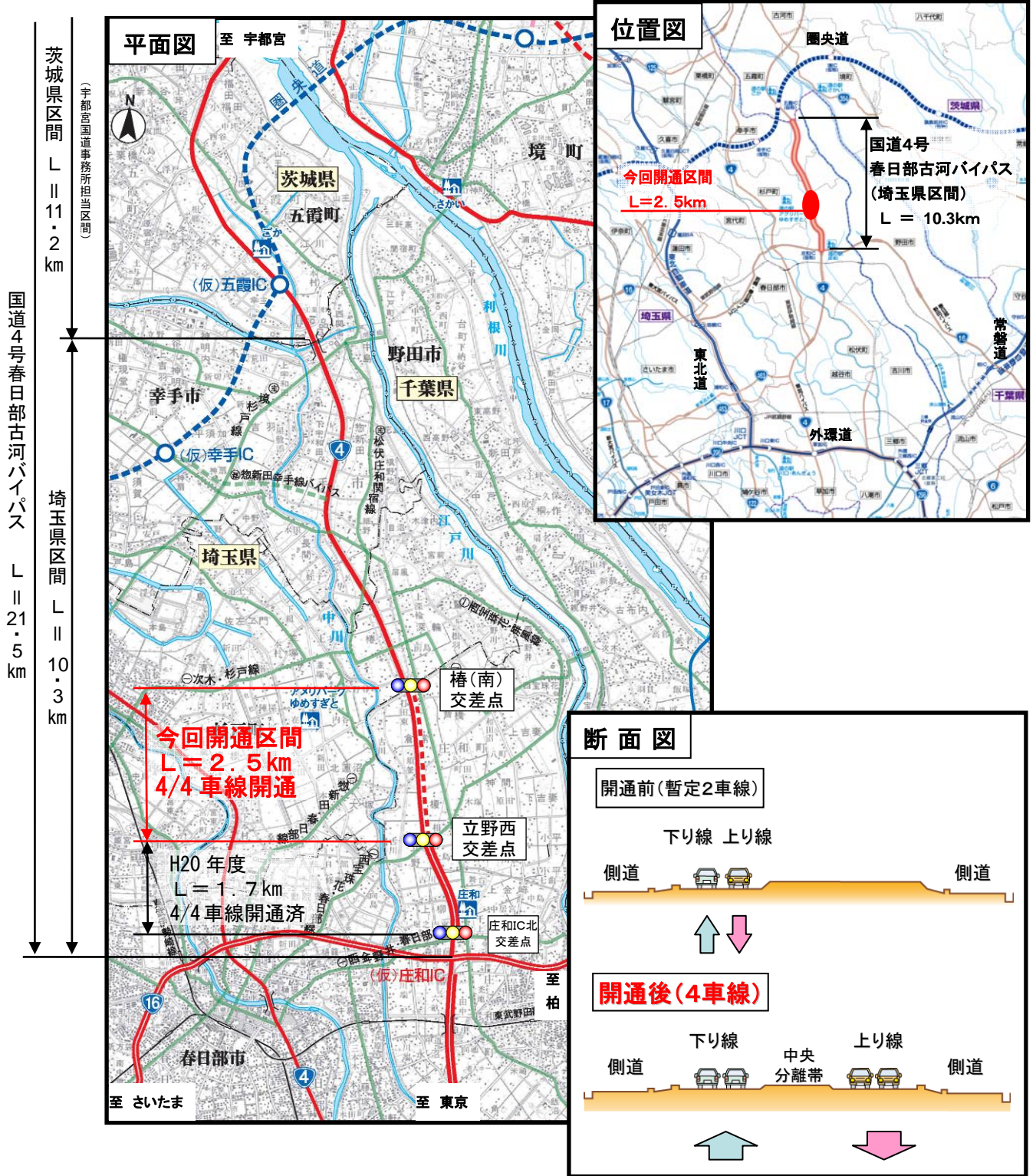
問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 北首都国道事務所 TEL:048-942-4041（代表）
副所長（地域広報官） 秋元 孝夫（あきもと たかお）
計画課長 平本 和寿（ひらもと かずとし）

【開通日時】 平成22年3月29日(月)(9時より順次開放)

【開通区間】 立野西交差点～椿(南)交差点 L=2.5km

(埼玉県春日部市立野～春日部市倉常)



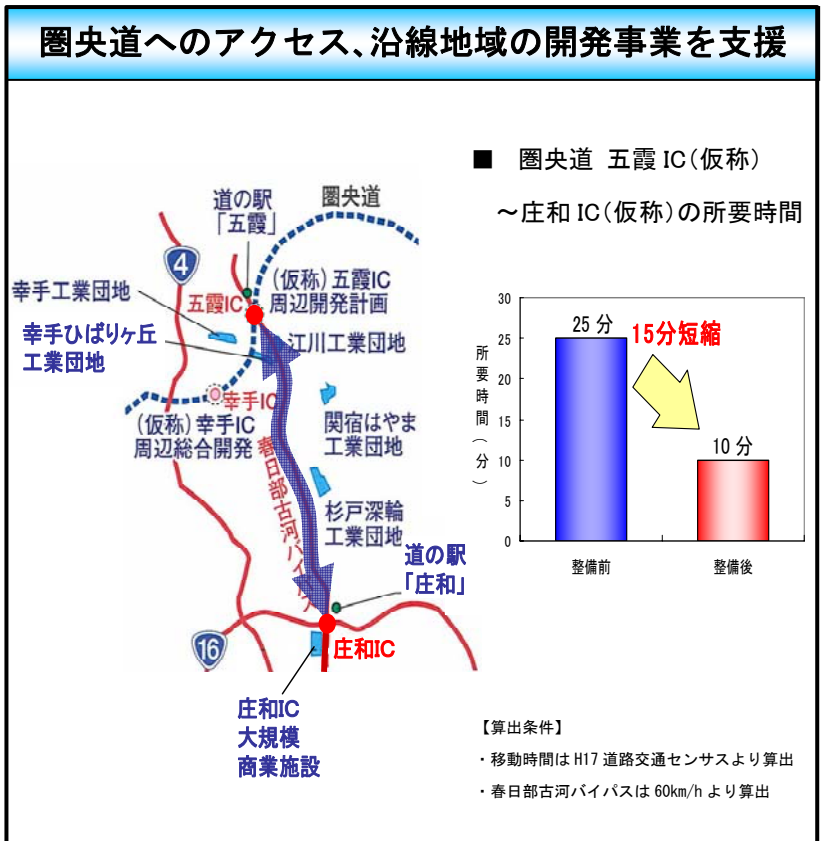
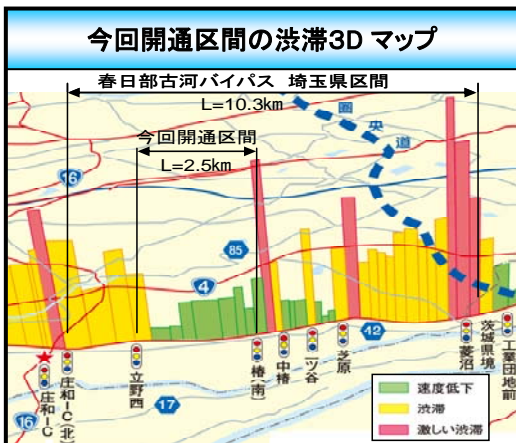
国道4号春日部古河バイパスの埼玉県区間の**整備効果**

■ **交通混雑の緩和、沿道環境改善に寄与**

- ・ 春日部古河バイパスと並行している現国道4号、県道等からの交通が転換されることにより周辺道路全体での渋滞の緩和、交通事故の減少や沿道環境の改善が期待されています。

■ **圏央道へのアクセス、沿線地域の開発事業を支援**

- ・ 庄和 IC 交差点(国道16号との交差点)から圏央道の(仮称)五霞 IC までの移動時間が、約15分短縮されます。
(春日部古河バイパス(埼玉県区間) 2車線(整備前) 約25分 → 4車線(整備後) 約10分)
- ・ 春日部古河バイパス周辺には、多くの工業団地や流通拠点等が開発されており、埼玉県東部地域の開発事業の支援に寄与しています。



※ 国道4号春日部古河バイパスは、埼玉県春日部市から茨城県古河市に至る延長21.5kmの幹線道路です。このうち、北首都国道事務所(事務局長：瀬尾 俊男)では、国道4号春日部古河バイパスの埼玉県区間10.3km(昭和58年度までに暫定2車線(対面通行)で全線開通)の事業を担当しています。

現地状況写真

工事着工前 (H21.8.12撮影)



立野西交差点付近より宇都宮方面を望む

※写真データをご希望の方は問合せ先までご連絡下さい。